

2012年4月26日
株式会社mediba

スマートフォンのターゲティング広告における プライバシー保護の対策強化について

株式会社mediba(本社:東京都 港区 代表取締役社長 大朝 毅 以下、mediba)は、インターネット利用者の保護とセキュリティ強化を目的に、medibaが取り扱うスマートフォンでのターゲティング広告において、2012年4月26日(木)より以下のとおり「利用者情報の取り扱い」を変更することとなりましたのでお知らせします。今後もmedibaでは、インターネット利用者の安心と安全を第一に考え、広告主とインターネット利用者のマッチング向上のために、サービス開発をまいります。

【利用者情報の取り扱いについて】

	変更前	変更後
web ID	ローカルストレージ(※1)を利用	Cookie を利用
「iOS」搭載スマートフォン(iPhone)向けアプリ ID	端末識別情報「MAC アドレス」(※2)をハッシュ化して利用しターゲティング広告を行う SDK(=Software development Kit)を配布	端末識別情報「MAC アドレス」をハッシュ化したものの利用を停止し、ターゲティング広告を行わない SDKを配布(※3)

(※1)ローカルストレージ・・・PCや端末のブラウザサービスを通じてWebサイトを利用した場合、これらの機器上に保存される利用者情報

(※2)MACアドレス・・・・・・・PC、通信端末機などに付与された値

(※3)「Android™」搭載スマートフォン向けアプリの端末識別情報の利用停止は5月の予定です。

■上記に伴い、「スマートフォンでのターゲティング広告のプライバシーポリシー」などを変更しております。

(スマートフォンでのターゲティング広告のプライバシーポリシー: <http://medibaad.com/sp/privacy/privacy.html>)

※「Android™」は、Google Inc. の商標または登録商標です。

■本件に関するお問合せ先

medibaコーポレートサイト お問い合わせページ <http://www.mediba.jp/contact/>

お問い合わせフォームの「mediba adのプライバシー情報に関するお問い合わせ」をご選択ください。